

作文メモ
2025年12月8日(月)

森田河墨

「わおおおお」カツ丼が来た瞬間僕は叫び出した。

何しろ1年ぶりのとんかつだからだ。

この会話を聞いて、お母さんはいつもぼくの写真を撮る。

まるで世界一おいしい食べ物のように僕はカツ丼を食べた。

もしこれがもっと家の近くにある店だったら毎回行っていることだろう。

前食べたピザとは大違いだ。

なぜならそのピザは油が多く、チーズが多く肉が全然なかったからだ。